

1. はじめに

我々は活力ある地域社会の実現を目指し、地域経済の活性化を図る地域密着型ポータルサイトの提案を行っている。地域社会を活性化させるために最も重要なことは地域経済を活発にすることであると考える。

経済は需要と供給の関係で成り立っている。そこで需要者コミュニティと供給者コミュニティの交流の場を提供し、積極的に需要供給関係の成立を促進させることで地域経済の活性化を図る。地域密着型ポータルサイトがその具体的な交流の場の役割を担う(図1)。

地域密着型ポータルサイトにおいて需要者コミュニティと供給者コミュニティを発生させ、維持させ、双方のコミュニティを引き合わせて新たな需要供給関係の成立を促す。この役割を地域密着型ポータルサイトが果たすために、ポータルサイト、需要者コミュニティ、供給者コミュニティを効率良く機能させるための仕組みが必要である。地域密着型ポータルサイトではこの仕組みを支える枠組みとしてコミュニティの概念を取り入れる。地域密着型ポータルサイトにおいてコミュニティを制御することによりポータルサイト全体を効率良く機能させることができると考える。

本稿では地域密着型ポータルサイトの概要を説明し、特にこのコミュニティの基本的な考え方と制御法について論じる。

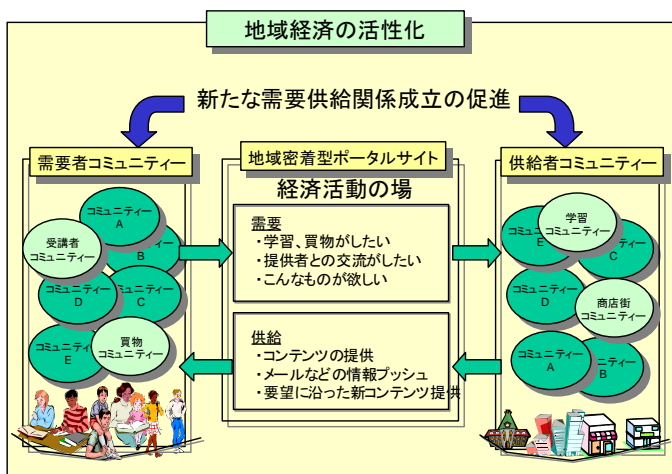


図1. 地域経済の活性化

2. 地域密着型ポータルサイトの役割

地域密着型ポータルサイトが果たすべき大きな役割は以下の2つである。

- ① 新たな需要供給関係成立支援の役割
- ② サービス提供の土台としての役割

一つ目については先述したとおりである。二つ目は、地域密着型ポータルサイト上での需要供給関係からなんらかのビジネスが成立したら、そのサービス提供のプラットフォームとして機能する役割も担っているということである。

図2に介護支援を例に2つの役割を示す。図では、介護支援サービスを受けたい側の需要者コミュニティと介護支援サービスを提供する側の供給者コミュニティが地域密着型ポータルサイトを介して出会い、需要供給関係が成立し、地域密着型ポータルサイトにおいてよりの確な介護支援サービスを提供する様子を示している。

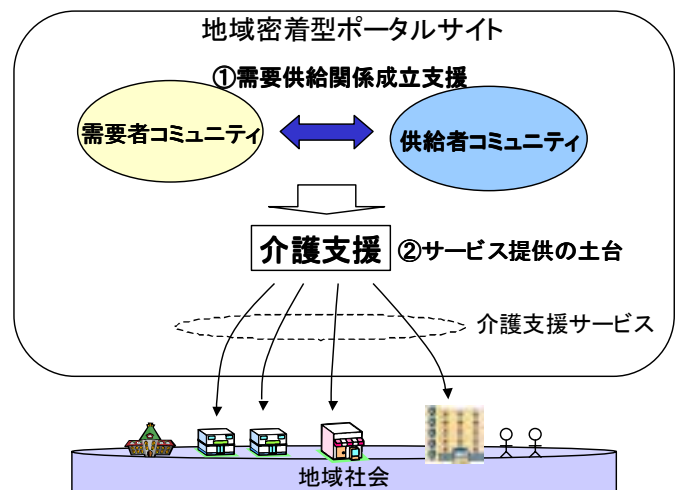


図2. 地域密着型ポータルサイトの役割

3. 地域経済活性化の仕組み

3.1 要求の抽出

我々は需要と供給を共にポータルサイトに対しての“要求”であると据える。需要という要求と供給という要求が満たされた状態が需要供給関係成立であると考え。地域社会の中には様々な要求が内在しているが、内在しているだけであって満たされていないものも多い。要求は個々に抱え

ているだけでは満たされず、多くの人に広く求められている要求であることが認知されて初めて需要となり供給者との関係が結ばれる。すなわち、需要供給関係の成立には要求同士の出会いが必要であり、地域に潜在している様々な広く求められている要求を抽出することで需要供給関係の成立を支援できる。

3.2 コミュニティによる要求の抽出

人々の中に潜在している広く求められる要求を抽出するためにはどうしたらよいのか。個々に所有している要求を顕在化することにより広く求められている要求を見つけることができる。そのためには人々の要求を「吐き出す場」が必要になる。そのような場としてコミュニティに注目する。広く求められている要求をめぐってコミュニティが生成され、コミュニティが需要を抽出する。あるいは、広く求められると考えられる要求をめぐってコミュニティの場をあらかじめ用意し、コミュニ

ティ生成を支援し、需要の発生を促す。

3.3 地域密着型ポータルサイトによる制御

地域密着型ポータルサイトがコミュニティを制御する。地域密着型ポータルサイトはコンテンツを提供して様々なコミュニティの生成を支援し、地域社会に内在している様々な要求を抽出することにより需要供給関係成立を促進して地域経済を活発にする(図3)。需要供給関係成立の支援とは具体的には、需要者コミュニティと供給者コミュニティを適切に引き合わせることである(マッチングと呼ぶ)。

4. コミュニティの考え方

広辞苑では“コミュニティ”を「人々が共同体意識を持って共同生活を営む一定の地域、およびその人々の集団。地域社会。共同体。」と説明されている。コミュニティとは、古来、人間が共同生活を営むようになってから現れた概念であり、そ

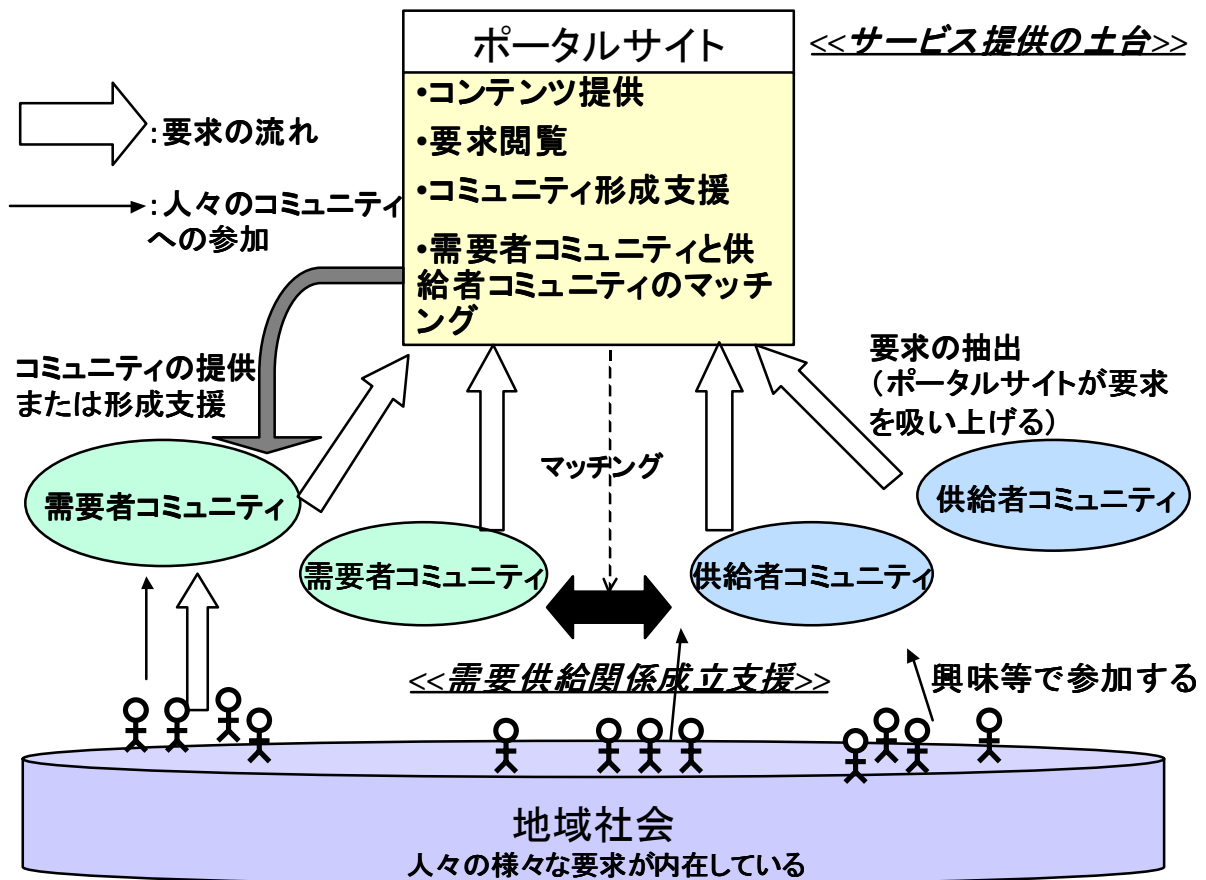


図3. 地域経済の活性化の方法

れは人と人とのつながりが具体的な形で現れたものであると考えられる。このように非常に必然的に出現したものであり、本来人為的にその形成が促されてできるものではないことがわかるが、現在ではコミュニティというものは多種多様に变化しいたるところに形成されている。

地域密着型ポータルサイトから見たコミュニティの共通的な特徴を以下に示す。

(1) コミュニティによる自主性の引き出し

実世界にはさまざまなコミュニティが存在している。例えば、地域社会を構成するコミュニティ、Linuxの開発をめぐるコミュニティ、インターネット上において特定の関心事をめぐるコミュニティなど多種多様であるが、人工的あるいは自然に発生し、成長する。そこには大きな力が集結して、それによって目的を達成したり問題を解決していく。義務があるわけではないにも関わらず、コミュニティを取り巻く人々は力を持ち寄りなんらかを遂げる。コミュニティはそれに属する人・属した人を啓発し、自主性を引き出す。

(2) 円滑なコミュニケーション

コミュニティではよく使われる言葉、ある程度合意された言葉、特有の言葉によって会話がなされる。すなわち参加者それぞれがある程度の知識レベルを満たしていることが前提で会話が交わされ、かつ、それぞれが特定の目的意識を共有している。そのために論点も絞られ、各自の意識の向かう先にも大きなズレがなくなり、無駄も減少する。また、コミュニティにおいては砕けた言葉やインフォーマルな情報も行き交うため、円滑なコミュニケーションができる。

これら2つの特徴に注目し、地域の潜在的な需要を吸い上げる手段としてコミュニティを活用する。地域密着型ポータルサイトにおいて様々な要求をめぐった様々なコミュニティの発生および維持を支援する。

5. 地域密着型ポータルサイトの概要

地域密着型ポータルサイトを中心にしたサービス全体像は、3つの大きなドメインからなってい

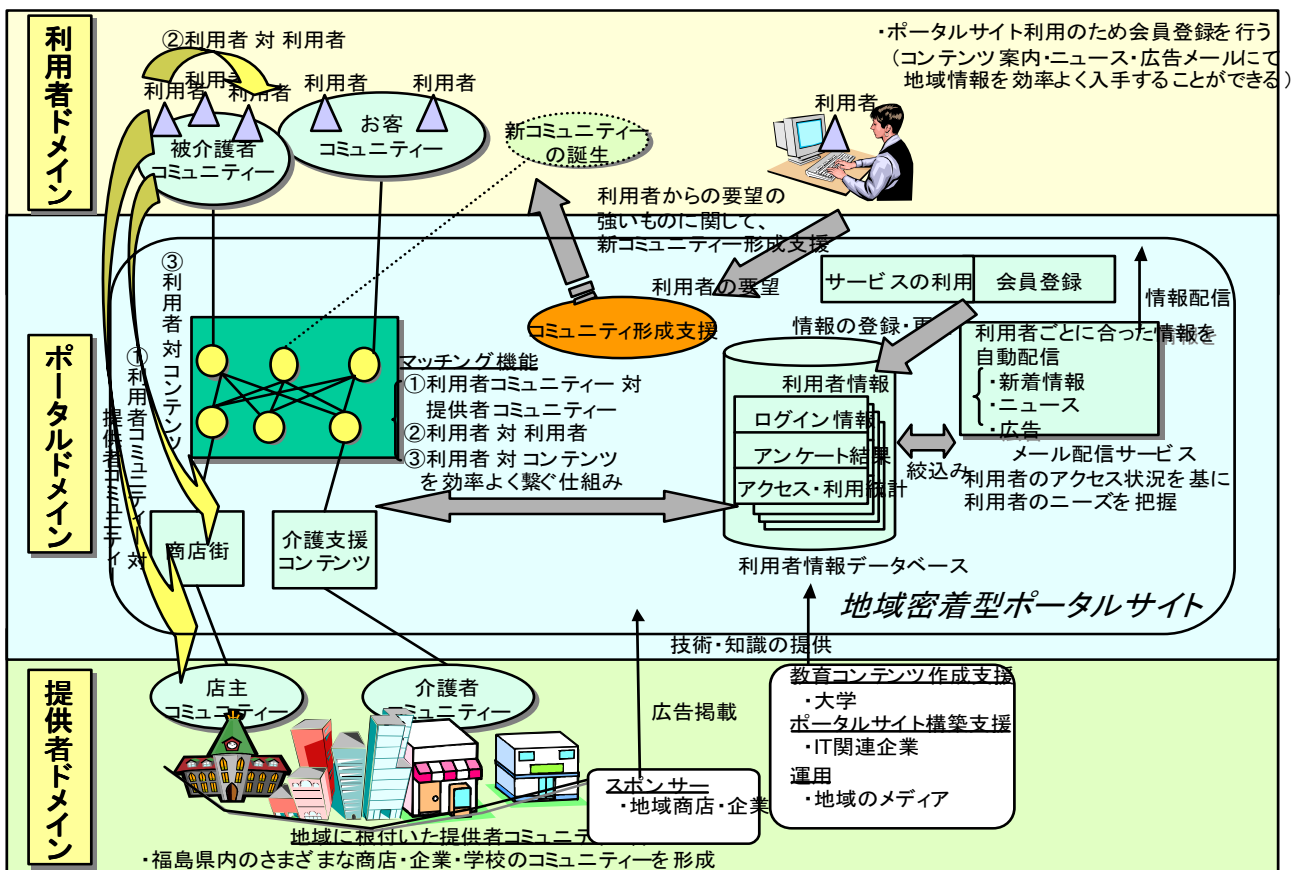


図4. 地域密着型ポータルサイト全体概要図

る。一つは需要者コミュニティと供給者コミュニティの出会いの場となるポータルサイトドメイン。もう一つは、需要者コミュニティと供給者コミュニティの出現元となる地域社会(利用者ドメイン)。もう一つは、ポータルサイトを運営する提供者ドメインである。提供者ドメインはポータルサイトを立ち上げる。提供者ドメインは、ポータルサイトを直接的に運営する立場であり、利用者ドメインから現れる一般的な供給者とは区別する。

図4に全体概念図を示す。以下、3つのドメインについて述べる。

(1) ポータルドメイン

地域密着型ポータルサイト(ポータルドメイン)は提供者ドメインからの様々な魅力あるコンテンツを提供する。

地域密着型ポータルサイトはコミュニティを制御(発生・維持)する仕組みを備えている。

様々なコミュニティのマッチングを行う。提供者ドメインからの有料サービスのシステムを稼動するプラットフォームとしての役割を持つ。

(2) 利用者ドメイン

利用者は地域密着型ポータルサイトに登録して利用する。

ポータルサイトが提供するコミュニティに自由に参加する。

(3) 提供者ドメイン

広く求められていると思われるサービス(コンテンツ)を提供する。

地域密着型ポータルサイトを直接的にコントロールする役割を持つ。

6. コミュニティ制御法

我々は、コミュニティを制御するということを「コミュニティを意図的に発生させ、維持することである」と据え、さらに、コミュニティを意図的に発生させるということをも「不均質なコミュニティを均質化することである」と考える。また、コミュニティを維持することを「均質化されたコ

ミュニティを消滅させずに存続させることである」と考える。

6.1 不均質と均質の定義

不均質とはある集団において各自様々な要求を持った人々が混在している状態であり、均質とは同じ要求を持った人々が集合している状態である。不均質な状態になんらかの作用を与えることで均質化することができる。と考える。

6.2 均質化制御

ある一つの不均質な集団に、個人の要求を満たすなんらかの対象を提示することにより、その対象に同一の要求を持った人々が引きつけられる。

地域密着型ポータルサイトの重要な役割の一つは、地域という一つの不均質なコミュニティに、広く要求されると思われるなんらかの対象を提示することで、人々の中に潜んでいる大きな要求を吸い出し、その地域に潜在しているいくつものコミュニティを出現させることである(均質化制御と呼ぶ)(図5)。ポータルサイトドメインは提供者ドメインが作成したコンテンツを提示し提供する。この様々なコンテンツを求め、様々なコミュニティが地域社会から出現する。

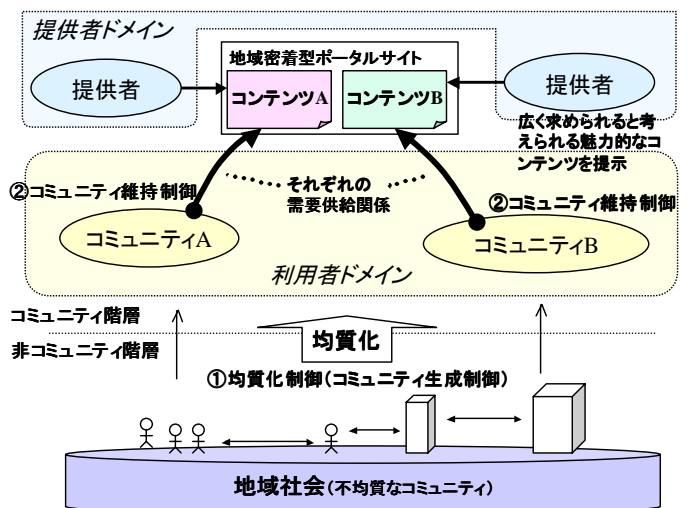


図5. コミュニティの需要供給関係成立の支援

6.3 コミュニティ維持制御

6.3.1 コミュニティ維持制御の考え方

均質化制御により地域社会から出現させたコミュニティを消滅させないように継続的に維持する制御がコミュニティ維持制御である。

仮想空間を舞台にした一般的なコミュニティにおいてはすでに電子掲示板やチャット、ICQなど様々なコミュニティ支援ツールが用いられている。我々はこれらを利用すると共に、仮想空間という限られたコミュニケーション空間ゆえに低レベルなコミュニティ環境しか与えられない状況を改善するために、アウェアネスの概念をコミュニティ維持制御に取り入れる。

6.3.2 アウェアネスを用いたコミュニティ維持制御

アウェアネス(awareness)とは直訳すると「気づいていること」である。コンピュータ用語としては、仮想空間においてネットワークを介してそのネットワークに接続している人の存在や状態に気づくことであり、一般的に次のような効果がある。

- 呼びかけることなくして相手の状態を認知できるため在席か否かを確認してからコミュニケーションを試みるので無駄がない。
- 無駄を省くことで円滑なコミュニケーションが期待できる。

我々はこのアウェアネスの概念をコミュニティに適用する際により有効なものとするために、アウェアネスの定義を拡張する。

本来アウェアネスとは先述したようにネットワ

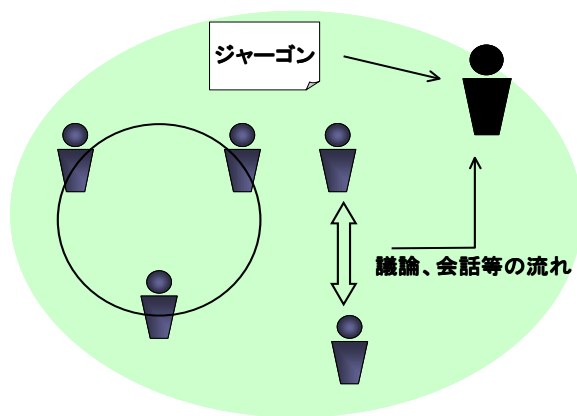


図6. コミュニティにおけるアウェアネス

ークを介して接続している人の状態などを気づかせることを指しているが、この気づかせる内容の範囲を広げて、よりネットワークを介した人への精神的な距離を近づけることが狙いである。

そのためには、インタラクションを深めるために、一般的に謳われているアウェアネスに加えて、場に馴染みやすく、バラバラに存在している参加者に輪を意識させられるような情報の“アウェアネス”を提供することが有効であると考えている。

以下にその具体例を挙げる(図6)。

- 属している者の人と人とのつながり(AとBは頻繁に通信が行われている、など)。
- 途中参加した人に対する文脈の提示。
- その場でのみ使われる言葉などの説明。

7. おわりに

今回は地域密着型ポータルサイトの意義や役割、それを上手に機能させるための仕組みであるコミュニティの考え方、そしてその制御法(生成支援、維持支援)についての概要を説明した。

今後はコミュニティ制御法の具体的な制御手順を開発し、地域密着型ポータルサイトが提供するコンテンツの事例として考えている介護支援システムを適用して検討を進めていきたい。

【参考文献】

- [1] David R. Millen, Michael A. Fontaine, and Michael J. Muller "Understanding the benefit and Costs of Communities of Practice" April 2002/Vol.45,No.4 COMMUNICATIONS OF THE ACM pp.69-73
- [2] Dorine C. Andrews "Audience-Specific Online Community Design" April 2002/Vol.45,No.4 COMMUNICATIONS OF THE ACM pp.64-68
- [3] Amy Bruckman "The Future of E-Learning Communities" April 2002/Vol.45,No.4 COMMUNICATIONS OF THE ACM
- [4] 森下哲司、松田正宏、神田陽治：“インターネットコミュニケーションシステム アウェアネスとテキスト通信をベースにした新しいコミュニケーションシステム” FUJITSU.50,4,pp.185 - 190
- [5] 松田正宏、村上昌彦：“インターネット時代のコミュニケーションメディア” FUJITSU,49,5,pp.358 - 362 (09,1999)